

入試年度	2026年度	入試時期	Ⅱ期入学試験	実施日	2026年2月18日
課程	博士前期課程	研究科	国際日本学研究科	専攻・コース	国際日本学専攻 日本語学・日本語教育学研究領域
入試方式	一般入学試験/ 外国人留学生入学試験		試験科目	専門科目	

「出題の意図」および「解答」または「解答例」

**【出題の意図】**

日本語学・日本語教育学研究領域において研究を遂行するために必要となる日本語学・日本語教育学に関する基礎的知識を有しているかを判断する。

**【解答例（採点時の観点）】**

I. 論述問題

(1)

キーワード：

形式名詞／意味の漂白化／複合辞／習得の難しさ

評価の観点：

- ・意味の漂白化という概念について説明しているか。
- ・形式名詞を含む複合辞を例示して説明しているか。
- ・意味の漂白化と習得の難易との関係について、自身の見解を述べているか。

(2)

キーワード：

敬語の分類／日本語教育現場での指導／文化庁の指針／素材敬語／対者敬語

評価の観点：

- ・日本語教育現場での敬語の指導と文化庁の指針との違いについて説明しているか。
- ・素材敬語・対者敬語と敬語の分類との関係について言及しているか。
- ・日本語学習者の敬語の習得の難易について、自身の見解を述べているか。

II. 解説問題

(1) ディスコース・マーカー

キーワード：

談話の境界／接続詞／副詞／聞き手（読み手）／談話の理解

評価の観点：

- ・ディスコース・マーカーとして用いられる語（品詞）について言及しているか。
- ・ディスコース・マーカーの談話における機能について説明しているか。
- ・ディスコース・マーカーと談話の理解との関係について説明しているか。

(2) 遂行動詞

キーワード：

動詞／行為の遂行／発話時点／一人称

評価の観点：

- ・遂行動詞の概念について説明しているか。
- ・遂行動詞として用いられる動詞の具体例を複数挙げているか。
- ・遂行動詞の使用条件（発話時点、一人称、状況の適切性等）に言及しているか。

### (3) 語彙的複合動詞

キーワード：

統語的複合動詞／前項動詞と後項動詞／意味の総和／意味的透明性

評価の観点：

- ・語彙的複合動詞の特徴について、統語的複合動詞との違いから説明しているか。
- ・語彙的複合動詞の具体例を複数挙げているか。
- ・語彙的複合動詞の多義性と習得の難易の関係について言及しているか。

### (4) 間接発話行為

キーワード：

語用論／発話の意図／文字通りの意味／配慮／社会的側面

評価の観点：

- ・間接発話行為の概念について説明しているか。
- ・具体的な場면을例示しているか。
- ・間接発話行為の社会的側面に言及しているか。

## 合否判定の方法及び基準

入学試験は国際日本学研究科のアドミッションポリシーに基づき、これを満たす学生を募集することを目的に実施しています。

合否判定については、本研究科のアドミッションポリシーを満たすことを、総合的な視点により合否を判断しております。